

# 山本学区社会福祉協会の「やまもと」

平成 26 年 1 月 31 日発行

第 99 号

編 集

山本学区社会福祉協議会

広報委員会

☎ 874-0157

迎春

今年もよろしく  
お願いいたします。

社協役員一同

## 新年のご挨拶

会長 大石 正明



新年あけまして  
おめでとうございます。

皆様には輝かしい  
新年を迎えられ  
心よりお喜び申し上げます。

昨年五月末より、前森田会長の  
後任として、就任いたしました  
が、不慣れのため、いろいろとご迷惑  
をおかけしていると思います。

しかし、役員をはじめ、各種団  
体、ならびに地域の皆様には格別  
なご協力とご支援を賜り、大過な  
く運営が遂行できたと思っていま  
す。まずもって、感謝とお礼を申  
し上げます。

山本学区社会福祉協議会は、皆  
様に情報提供するこの広報紙「社  
協やまもと」を発行する「広報  
委員会」のほか、「福祉活動委員

会」、「ボランティアバンク運営委  
員会」、「総務委員会」、「福祉のま  
ちづくり運営委員会」、「ICT委  
員会」の六委員会と、各種団体、  
各自治会選出の評議員で構成され  
ています。現在、山本学区は、宅  
地開発、マンション建設などに伴  
い人口増加の傾向にあります。が、  
残念ながら自治会組織等への加入  
率は、年々減少傾向にあります。

「向こう三軒両隣」という言葉が  
通用しなくなった今、昔ながらの  
ふれあい、支えあいが消えようと  
しております。山本学区はお陰様  
で犯罪の発生が少なく、かつ長い  
間、大きな災害も起こっていませ  
んの、大変住み良いところだと  
喜んでおります。

しかし、その一方で、災害に対  
する危機意識が、全国レベルより  
かなり低いのではと危惧しており  
ます。災害は忘れた頃にやってく  
ると言われております。突如とし  
て南海トラフ地震が起こった場合、  
果たして適切に対応できるでし  
ょうか。行政ばかり頼っている、  
被害を最小限に食い止めることは  
難しくなります。そんな時こそ、  
隣近所、地域の「支え合い」が必  
要になってくるのです。「自治体  
や諸団体がなにをしてくれるか」  
ではなく、「自分が地域のために

何ができるか」今一度考えてみよ  
うではありませんか。「備えあれ  
ば憂いなし」日頃の避難訓練など  
を通して、地域住民全員がその必  
要性を確認することも必要な時期  
にきているのではないのでしょうか。  
山本は、各種団体の活動が、独自  
に活発に行われています。しかし、  
地域全体としての動きは、今一歩  
の感が拭えません。

社会福祉協議会は、全方面にわ  
たる活動をしています。各種団  
体間のつながりを仲立ちし、幼児  
から高齢者まで、誰もが安心して  
安全に、心豊かに暮らせることを  
願って活動を続けてまいります。  
人材不足と限られた予算の中で  
の事業運営は、厳しい実態です。

今年からは、他学区の活動状況  
等も調査し、良いところは取り入  
れて行きたいと考えております。

特に、敬老フェスティバルにつ  
きましては、その重要性を再確認  
することが必要ではないかと考えてお  
ります。どうか皆様におかれまし  
ても、深いご理解と、お力添えを  
お願いいたします。

この一年が皆様に良い年であり  
ますよう祈念し、新年のご挨拶と  
いたします。

## 常に感謝の気持ちで

山本五丁目

曾根 満男さん(71)



私は、三歳の時に、爆心地から三キロの現在の翠町で被爆、母は、勤労奉仕で市街地に向かう途中被爆して亡くなりました。

昭和三十六年、県立国泰寺高校を卒業と同時に、人の役に立ちたいと、広島県警察官を拝命しました。以後四十年間のほとんどを刑事警察で勤務し、数多くの事件を解決し、平成十四年に退職しました。

警察時代は、不眠不休の勤務続きで、地域の方々と接する機会もなく、家庭のことはもちろん、自治会行事などはすべて妻まかせで、妻に感謝することしきりでした。

退職後も、七十歳まで、第二、第三の仕事に就きましたが、警察時代に比べて、心にも余裕が持てるようになり、その頃から私のボランティア精神が芽生えてきたように思います。

何か、地域の方々のお役に立てることはないだろうかと思案し、

まず手がけたことは、自治会内の老人会の設立でした。それまでも六十歳以上になれば入会できる同好会は存在していましたが、折角なら自治会内の組織に組み入れ、活動したいと思いました。初代会長として、各種自治会行事のお手伝いや、清掃活動などを提案、実施してまいりました。

その後、自治会副会長を二年間務め、引き続き自治会長を二年間務めました。この間、私は「子どもたちの思い出となるふるさと作り」をメインテーマとして活動を展開してまいりました。それは、今この地で育っている子どもたちは、ここがふるさとになるため、大人になって「子どもの頃が懐かしい」と、思い出を持ってほしいこと。また、子どもたちが健全に育ち、非行にはならないように、自治会員全員が子どもたちを知り、お互いに声かけをし合うことが目的だからです。

自治会内にあった、これも任意的な子ども会も、老人会同様、自治会組織に編成して、自治会全体でバックアップすることにしました。そこでは、子どもたちに、たくさんの思い出作りや、伝統行事の継承を願い、年末には新で米を蒸し、臼と杵でつき、手で餅を

作る「餅つき大会」を始めました。これも主として、老人会会員が子どもたちを援助しながら実施しています。また、思い出となるふるさと作りの一環として、「秋祭り」も立ち上げました。今年で六回目を迎えました。年々盛況になり、嬉しく思っております。祭りは「ふれあい祭」と名づけて、

会員同士の親睦を図ることはもちろん、大人と子どものふれあいを重視して、子どもが喜ぶイベントを取り入れました。子どもたちは、「秋祭り」や、夏休みの「そうめん流し」を楽しみにしているようです。最近では、子どもたちの方から先に挨拶や声かけをしてくれるようになりました。私どもの自治会からは非行少年は出ないと秘かに確信を持ち、自負しております。

現在は、自治会役員から身を引き、ボランティア活動に専念する毎日です。その一つは、「子ども見守り活動」です。子どもたちの下校時に事故のないよう見守り、声かけをしております。また、防犯の地域安全推進員として、「青色回転灯パトロール隊」に入隊して、山本学区内を車で巡回し、安全・安心なまちづくりのために、ボランティア精神をフルに発揮し

ている毎日です。



二胡演奏会の一コマ 中央曾根さん

趣味は、家庭菜園での野菜作りや、ゴルフ。また二胡の演奏や、キーボードの演奏を、頭の活性化のために習い続けています。

この度、はからずも、平成二十五年度の秋の叙勲に際し、「瑞宝双光章」拝受の栄に浴することができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物と感謝しながら、これからも元気で、地域のお役に立っていききたいと思っております。

# 平成二十五年度 敬老フェスティバル

昨年九月十六日、多年にわたり地域社会に尽くされた高齢者のご長寿をたたえ、そのご苦勞に感謝する「敬老の日」に当たり、「敬老フェスティバル」が山本小学校体育館で開催されました。

会長の挨拶、山本小学校二年生ならびに祇園中学校三年生による祝辞、来賓の紹介等の式典に続き、アトラクションが行われました。



第一部は、山本幼稚園の園児約百七十名による歌、第二部は、広島経済大学ダンス部十七名による、よさこい「炎舞」(フラワーフェ

スティバルにおいて最優秀賞受賞)、第三部は、広島文化学園大学音楽部四名によるミニコンサートでした。



大勢の方に最後まで盛り上げていただき、盛大で、なごやかな会となりました。



## 「敬老会」に感謝

山本五丁目 塩見 信雄さん

山本小学校体育館のステージに溢れんばかりの山本幼稚園児の大合唱、私たちのために可愛らしく力いっぱい歌ってくれた。少子化というのに山本地域のこの活気は、すばらしい。続いて経済大学生のよさこい「炎舞」、若者のエネルギーがよみがえり、この若者たちが明日の日本を築くのだと感慨を覚えた。そして文化学園女子大生による演奏、女性特有の優しいメロディが心に響き、演奏のあと、伴奏で参加者全員が「青い山脈」と「りんごの歌」を大合唱。大いに盛り上がった。

お菓子の詰め合わせも、いただいた。

山本学区社協が、私たち高齢者のために企画し、『元氣』を贈ってくれた「敬老会行事」に感謝。ありがたいと思う。「敬老の日」は、多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」とされている。

私は、この日に次世代を担う子どもたちや、若者の幸せを祈り、「敬老会」という、至福の一日をすごした。

## 赤い羽根

### 共同募金のお礼

例年どおり、十月一日より赤い羽根共同募金活動が始まり、山本学区においても、昨年同様、スーパーレスタ東山本店の店頭において、午前十時から、午後四時までの六時間、二時間交代で、民児協、女性会、社協の女性六名の方々に、二名ずつのペアになって、街頭募金を実施していただきました。当日の募金額は、昨年を上回りました。



残暑の厳しい中お疲れ様でした。厚くお礼申し上げます。

また、各自治会からも、共同募金会宛に直接募金していただきました。心よりお礼申し上げます。

募金額の一部が、福祉活動助成金として、地元還元されることになっていきます。

ありがとうございました。

最愛の人に、最上級の親愛を込めて(Dearest)存らぎ(Rest)を提供します

㈱M&Cコラボレーション

デイサービス デイア・レスト山本

センター長 日野 克公



当事業所は安佐北区可部にあります介護付き有料老人ホーム「デイア・レスト可部」

を母体とし、平成二十年六月、山本に開設し皆様のご理解とご支援のもと、六年目をむかえることができました。



センター前景

## デイサービスセンターの様子

当デイサービスは、その日の気

分に合わせて利用者様のやりたいことを職員が支援しながら生活機能の維持向上に努めさせていたいています。



交流風景

時には庭を散歩されたり、マジックを披露されることもありま。季節の行事も行っており、毎年夏には、『そうめん流し』を行います。大変好評をいただいております。



そうめん流し

その他、野菜植え、収穫などもおこなっております。集団でのレクリエーションが苦手、ゆつたりのんびり過ごしたいという方も多く当センターで過ごされています。



野菜の収穫

## 地域との交流

中学生の職場体験の受け入れ、いきいきサロンの体操講師による指導、講演活動、子ども会との合同クリスマス会開催など、交流する機会が増えてきております。

また今年は、山本学区の通所事業所が共同で『山本地区福祉祭り』を開催することができ、地域の方々に福祉・介護を知っていただけたこと、また、気軽に立ち寄っていただけたのではないかと思います。



子ども会との交流



デイア・レスト山本では、利用者様には『第二の我が家』となるよう努めてまいります。また、地域に必要とされる事業所を目指し、今後も多くの方と関わりを持ちたいと考えております。今後とも宜しくお願いします。

## 山本社協の主な活動・事業の紹介

### 「ふれあいいきいきサロン」

山本学区社協では、年二回屋外サロンを実施しております。春は桜の下で花見。



秋はもみじの下でお弁当。



小学生と一緒にクリスマス会。



### 青空いきいき出前

#### 健康講座

青空のもと一緒に身体を動かしませんか。健康運動指導士による健康情報・健康体操。



### AEDの講習会



消防署の指導によるAED・人工呼吸の研修



## 寄付

ご厚志に対し、心よりお礼申し上げます。福祉活動の発展のために、有意義に活用させていただき

山本八丁目

(物故者)

山本七丁目

(物故者)

山本三丁目 祇園交通株様

(敬老フェスティバル協賛)

祇園支部被爆者の会

山本地区支部様

### 愛の献血に感謝

山本学区公衛協献血協力会

平成二十五年十一月三十日  
(土) 山本小学校グラウンドで、山本社協、城北ライオンズクラブの共催による、恒例の「献血助け合い運動」を実施いたしました。

当日は、天候にも恵まれ、地域の皆様から善意の献血にご協力をいただきました。スタッフも街頭に立ち、チラシを配ってご協力を呼びかけました。ありがとうございました。感謝申し上げます。目標の八十名には至りませんでした。が、今後ともよろしくお願いいたします。